

④新規用途開拓による地域農産物の需要拡大、ブランド向上

大橋さくらんぼ園の果実を使った新北海道スイーツの開発・製造・販売事業

大橋さくらんぼ園の多品種の果実を使用し、日本国内で本格的に流通していない海外発祥の菓子やパンを開発し、売上向上及びブランド化を目指す。

➤ 連携体

農林漁業者

(有)大橋さくらんぼ園(法人番号 9430002053374)(農業)

果実及び一次加工品の供給・商品販売。

中小企業者

みれい菓(同)(法人番号 1430003002313)(食料品製造業)

北海道産の果実を使用し、新たな北海道スイーツの開発・製造・販売。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構北海道本部(法人番号 2010405004147)

➤ 連携の経緯

みれい菓(同)は、洋菓子やパンの原料に北海道産の乳製品や砂糖、小麦粉等を使用しているが、フルーツに関しては、ほとんどが外国産を使用していたことから、北海道産フルーツを使用し、「北海道産」を前面に出した新商品の開発が課題であった。一方、(有)大橋さくらんぼ園は、サクランボ以外のプルーンやブルーベリー等の果実の有効利用を模索していた。

そのような中、両者が連携して試験的に製造・販売した洋菓子が物産展で非常に好評だったことがきっかけで本連携事業に取り組むこととなった。

(商品イメージ)
フルーツブリトル

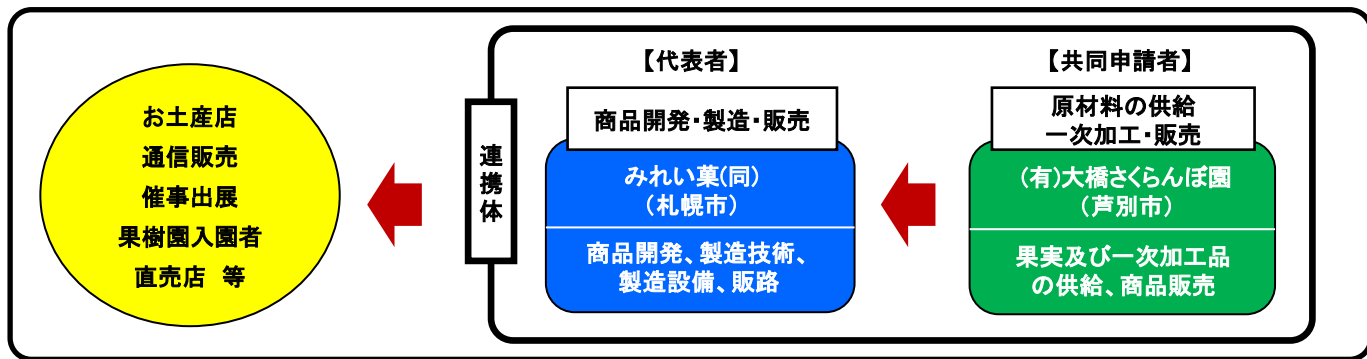


フルーツバブカ



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

(有)大橋さくらんぼ園が原料となるサクランボやブルーベリー等の果実を栽培・収穫・保管。生果実を提供するほか、用途に応じて、ピューレやジャム等の一次加工を実施。加工施設を通年稼働させることで雇用の安定化につながる。みれい菓(同)は、生果実や果実加工品を使用して、新規性が高く、北海道ブランドをよりアピールできる商品を開発・製造する。既存の販路に加え、(有)大橋さくらんぼ園とのダブルネームでの催事出展が可能となり、販路拡大が期待できる。



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で約436万円の売上高増加、加工施設の稼働率向上。

果実の付加価値化や入園者販売等による売上向上及び加工設備の通年稼働。

中小企業者

5年で約2,032万円の売上高増加、新たな商品展開による販路拡大。

新たな北海道スイーツの開発による売上増加及び新規催事出展による販路拡大。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : みれい菓(同)
TEL : 011-766-7722
E-mail : mireicallc@mireica.net

所在地 : 北海道札幌市北区新川2条7丁目3番
FAX : 011-766-7722
ホームページ : <http://www.mireica.net/>